



Across the Land

「境界線を越えて地の果てまで」



ウクライナにおける戦争と難民

西部中会宣教師：川瀬弓弦

主の御名を賛美します。

5月のハンガリー出発を前にして、予想もしていなかった恐ろしいことが起こりました。ロシアによるウクライナの侵攻と、そこから始まった残虐な戦争の現実です。難民として国外へ逃げた人の数は400万人を超え、国内の別の場所に避難している人を合わせると1000万人以上とされています。私たちの故郷でもあるウクライナがこのような戦争に巻き込まれたことに心を痛み、一日も早く平和が訪れることを何よりも願っています。

ウクライナの隣国であるハンガリーにも、数十万人の難民が流れてきています。多くが女性や子供、高齢者たちです。ハンガリー改革派教会は、いち早く難民への支援を始めました。国外への脱出のサポート、食料支援、また一時的な住居の提供などです。

エダ姉の生まれ育ったウクライナの村は、ハンガリーとの国境に接しているため、多くの難民が身を寄せてします。国外へと逃げることをためらっている人々です。戦争が激化するウクライナに、外国人が入って活動することはほとんど困難です。しかし、ハンガリー改革派教会は、ウクライナ国内の国境付近にも多くの教会を持つため、国内に残る難民に対して直接働きかけることのできる数少ない団体の一つです。牧師や長老たちは、国外へ退避できない多くの人々に寄り添い、支援をしています。私達はこのような献身的な働き人のために祈っていかねばなりません。

今のところハンガリーは比較的安全であると確認できたため、**予定通り5月18日**にハンガリーに向けて出発予定です。私たちの宣教の目的は青年伝道ですが、このような緊急事態においては、働きの枠を超えて必要とされる活動を行う用意があります。



現地に行ってみるまで、私たちに何ができるのかは分かりませんが、神の平和の器として、できる限りの支援を行っていくつもりです。お祈りください。

ウクライナから逃れてくる難民の列



<近況報告：右から>

エダ姉：ウクライナにいる親族や友人のことが心配です。

俐咲(リサ)：4歳になりました。

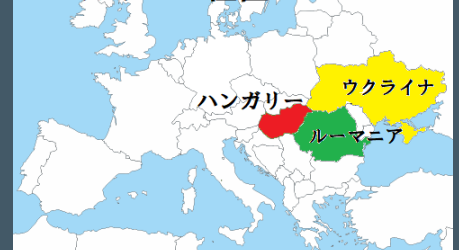
志恩(シオン)：中学校を卒業。
現地の音楽高校に受験中

ヨハンナ：今年から4年生。
友達との別れが辛い...

なおみ：小学校を卒業。
一段と背が伸びました。

弓弦：4月末までは恵泉教会の牧師として仕えます。

ハンガリーの位置



ウクライナを含め、この戦争に巻き込まれる危険のある東ヨーロッパの国々(ルーマニア、スロバキア)にも、ハンガリー人たちが多く住んでいる。ウクライナではハンガリー系住民も徴兵され、戦地に送られている。

これまでの活動と出発までの予定

ニュースレターだけでは伝えきれないハンガリーの教会や周辺諸国の現状について、これまで多くの教会で分かち合うことが許され、また素晴らしい交わりを持つことができました。

宝塚教会、鈴蘭台教会、銚子栄光教会、名古屋岩の上教会、松戸小金原教会中高生会、堺みくに教会、湖北台教会、日本基督教団箕面教会、千里摂理教会、園田教会、千里山教会、那覇伝道所、花小金井教会、田無教会、川越教会、坂戸教会<その他>西部中会青年会リトリート、東部中会長老会総会、全国学生会修養会<今後の予定>北神戸キリスト伝道所、板宿教会、徳島教会、神港教会
4月23日「平和の祈り～ハンガリー宣教とウクライナ」(園田教会)

3月20日に急ぎよ行われたハンガリー宣教とウクライナの平和を願う全国オンライン祈禱会には、定員100名を超える兄弟姉妹が集まってくださり、祈りにおいて心を一つにすることができました。ハンガリーへ渡航後も、ネットを用いて様々なアピールや現地報告の機会を持つことが可能です。ご希望の方はホームページよりお問合せください。

支援金状況 (目標金額：年間360万円)

これまで教会・伝道所、兄弟姉妹より多くの支援金が捧げられました。尊い献金に心より感謝します。現在集まっている支援金状況についてご報告します。

現在の支援金額 2,398,201円 (2021年10月～2022年3月)

- 教会・団体を通して38件、個人40件 合計78件
- ルーマニア宣教時の繰越残金 113,304円が含まれています。
- この他、神戸地区分科会より今年度36万円の援助金と、また複数の教会より定期的支援の申し出があります。

ゆうちょ銀行振替口座：

口座番号 00940-1- 284489

口座名称 「アクロス・ザ・ランド」

- 電話、ファックスでも受け付けています。
078-752-4148 事務局担当 加門勝老(恵泉教会長老)

支援会(アクロス・ザ・ランド)に関する変更

支援会は当初、恵泉教会の加門勝老長老を中心に立ち上げられましたが、**今後は西部中会宣教協力委員会の実務部門となり**、中会の公の働きとして位置づけられる予定です。宣教協力委員会は宣教師の具体的働きや生活や経済全般の監督として機能し、支援会は経済的・霊的支援の要として支援を呼びかけ、また支援者と川瀬家をつなぐ役割を果たします。支援会とは別に有志の牧師による「公式サポーター」が支援の輪を広げる活動をしています。

お祈りください

- ✦ ウクライナに平和が実現するように。難民を覚えて。
- ✦ 十分な支援者が集まり、経済的必要が満たされるように。
- ✦ 住居が見つかるように。志恩の高校が確定するように。
- ✦ 恵泉教会の今後の歩みと牧師招聘委員のために。
- ✦ ハンガリー改革派教会青年伝道部門(CsillagPont)の働きのため。

「平和を実現する人々は
幸いである。
その人たちは神の子と
呼ばれる。」

マタイによる福音書5章9節

Facebook / Instagram

準備状況、ハンガリーの働き、ウクライナの現状、祈りの課題などの情報を公開しています。

yuzuru kawase
と検索、または以下QRコード



ホームページ

活動の紹介や報告、ニュースレター、支援金の受付、他
[ハンガリー宣教川瀬]

と検索してください。または
QRコード →



支援金会員の登録は、こちらのQRコードからも直接受け付けています。



各種お問合せは、ホームページのCONTACTからお願いします。